

イエール・東大若手研究者派遣プログラム
2011-2012 若手研究者 募集要項

2010年12月14日 国際本部

東京大学は、2011-2012 大学年(2011年8月より)に米国・イエール大学に派遣する若手研究者を募集します。本募集は、日本学術振興会「若手研究者国際・トレーニングプログラム(ITP)」の委託業務である「イエール・東大イニシアティブを基盤とした日本学関連若手研究者国際養成プログラム」、及びイエール大学との学術交流協定によるものです。

派遣希望者は下記のとおり、応募に必要な書類を揃え、所属する研究科・研究所・センターを通じて、本部国際企画課宛に提出して下さい。

なお、今回の募集をもってITPによる若手研究者派遣は終了となります。

記

1. 目的

本プログラムは、日本研究と接点を持つ人文社会科学を専門とする大学院学生及びPDを、米国における日本研究の中心であるイエール大学の大学院に派遣し、国際的な研究交流を通じ、研究遂行能力と研究発信能力を育成することを目的とする。

派遣者は、自身の研究を推進すると共に、東大-イエール・イニシアティブ等、東京大学とイエール大学の学術交流活動に積極的に参加することが期待される。

2. 派遣者の条件

(1) 応募資格

A. 東京大学大学院博士課程学生(2011年4月1日進学予定者を含む)

B. 東京大学に研究員等として所属している者

※PD、RA、客員研究員(ただし他機関に籍があるものは不可)を含む。

(2) 派遣者の研究分野

日本研究と接点を持つ人文社会科学。

3. 派遣先

米国・コネチカット州・ニューヘイブン、イエール大学。

4. 派遣人数及び派遣期間

(1) 派遣人数 若干名

(2) 派遣期間 2011年8月下旬から2012年6月上旬までの約10か月間

5. 派遣者の待遇

(1) イェール大学における身分

① 応募資格 A の者

イェール大学大学院 The Graduate School of Arts and Sciences at Yale University における、Visiting Assistant in Research(VAR) として、研修の機会が与えられる。ただし、イェール大学大学院の単位取得はできない。

② 応募資格 B の者

東京大学とイェール大学の交流制度により、イェール大学で客員研究員として研修の機会が与えられる。

(2) 支給経費

日本学術振興会の若手研究者国際・トレーニングプログラム(ITP)の受託事業費より、旅費(往復交通費・宿泊費。本学規定にもとづく)・ビザ等手続経費・VAR申請経費・受講料・保険料を支給する。

6. 応募方法

(1) 提出書類

各書類は、A4 版とする。③⑤⑥を除き、全て英文及び和文を各一式提出すること。

① 申請書(各部局の本件担当部署に配布済みの所定の様式にて作成のこと。手書き不可。本申請書は下記 URL からダウンロード可)

http://dir.u-tokyo.ac.jp/topics/yale_itp2011-2012.html

② イェール大学における研究計画書(各 2~3 枚程度)

③ 英語力を証明できるもの(英語の能力試験成績証明書、あるいは他の方法による証明資料)

※注 応募資格 A の者はイェール大学での専攻によって TOEFL のスコアが必要になる場合がある。 http://www.yale.edu/graduateschool/admissions/dsr_var.html

④ 研究業績の紹介(各 2~3 枚程度)

博士課程在籍者: 修士論文の要旨及び博士課程における研究の概要

博士課程修了者: 博士論文の要旨または執筆予定の博士論文の概要

博士課程中退者: 修士論文の要旨及び博士課程在籍中ならびに現在の研究の概要

⑤ 応募資格Aの者は指導教員、Bの者は東京大学での受入教員の推薦状 1 通(和文)

⑥ 学部・大学院における成績証明書(和文 1 通、英文 2 通)

⑦ 大学院における在学証明書(応募資格 A の者)

⑧ 履歴書(高等学校卒業時より)

(2) 書類提出期限

2011年3月11日(金)16時30分

応募資格A(博士課程学生)の出願は教務課総合文化大学院係 に書類を提出すること。

7. 選考について

(1) 選考方法

第一次選考として書類審査による選考を行い、第一次選考の合格者に対して面接審査による第二次選考を行う。第二次選考に合格した者を派遣候補者としてイェール大学に通知し、最終的にイェール大学が VAR または客員研究員として受入の可否を決定する。

選考は、本事業の関係教員等による委員会が実施する。

※注 これまでに留学経験がなくても、選考に際して不利になることはありません。

(2) 選考・派遣の全体の日程

2011年3月22日(火) 応募締切、部局事務部より本部国際企画課に申請書類提出

4月上旬 書類審査により面接審査を受ける者を決定、通知

4月上～中旬 面接審査により候補者決定、候補者をイェール大学に推薦

5月上旬～6月 イェール大学で採用・受入決定、旅券取得手続き・派遣手続き開始

※派遣手続きは、国際企画課でサポートします

8月下旬 渡米予定

8. その他注意点

- 日本学術振興会の特別研究員は、同時に本プログラムによる派遣若手研究者となることができない。本プログラムに採用された場合、派遣時には特別研究員職を辞退する必要がある。
- 東京大学に研究員等として所属している者は、本プログラムによる派遣若手研究者に採用された場合、派遣時にそれらの職の辞退が必要になることがある。それらの職を辞退しなければならない者には、国際本部の特別研究員の呼称を与える。
- 東京大学大学院博士課程学生は、派遣期間中の休学は認めない。派遣期間中における単位等について所属研究科・指導教員と事前に調整をしておくこと。
- 東京大学大学院博士課程学生は指導教員より、研究員等の職にある者は東京大学における受入教員より、本制度により派遣されることについて了解を得、推薦状を応募書類の一つとして提出すること。
- 各種の奨学金あるいは研究助成金を受給している場合、それらの受給を継続できるか辞退しなければならないかについては、支給元に確認を取ること。なお、日本学生支援機構の奨学金は派遣期間中においても受給できる。
- イェール大学大学院において指導を受けたい教員(受入希望教員)の氏名・専攻を予め明らかにしておくこと。できれば、募集・選考期間中に、当該教員と連絡を取っておくことが望ましい。
- 派遣終了時には、実施委員会に所定の報告書を提出すること。

9. 関連情報

(1) ITP に関する情報

日本学術振興会 (ITP)

<http://www.jsps.go.jp/j-itp/index.html>

(2) イェール大学に関する情報

VAR

<http://www.yale.edu/graduateschool/admissions/nondegreeprograms.html>

http://www.yale.edu/graduateschool/admissions/dsr_var.html

VAR 申請書

<http://www.yale.edu/graduateschool/admissions/forms/Var%20Application.pdf>

大学院専攻

<http://www.yale.edu/graduateschool/academics/departments.html>

(3) 東大-イェール・イニシアティブに関する情報

http://todai-yale.jp/index_jp.html

(4) イェール・東大若手研究者派遣プログラムでは、本募集の他に「助教」を対象とした派遣事業も同時に実施しています。

(5) Fox International Program

類似の事業として、1998 年より米国・イェール大学の Fox International Program により企業・金融論、経済学、政治学、国際関係論、法学、環境政策、地域研究、現代史の分野でイェール大学大学院に留学生を派遣しています。本件は本部国際交流課 (E-mail: stuex@adm.u-tokyo.ac.jp)までお問い合わせ下さい。

応募書類提出先、問合せ先

東京大学 本部国際企画課

住所: 〒113-0033 東京都文京区本郷 5-24-5
角川本郷ビル3階

電話: 03-5841-0296、0491(内 20296、20491)

Email: intpl@adm.u-tokyo.ac.jp

担当: 高瀬、清水